

大阪府高槻市の小学校で「ジャックと豆の木」に挑戦！  
ホームハイポニカ 402 ～ 協和株式会社 ～

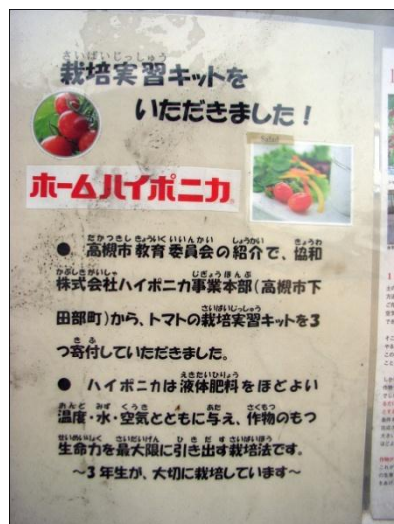
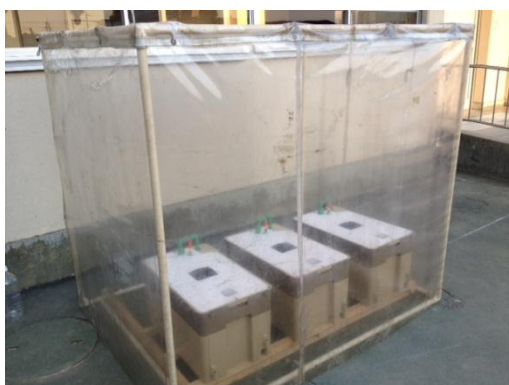
水耕栽培装置ハイポニカのメーカーである協和株式会社（大阪府高槻市 代表取締役 野澤 重晴）は、高槻市教育委員会の協賛の元に同市内の小学校8校に「ホームハイポニカ 402」を寄贈し、児童がトマトの栽培を行っています。

これは同社が現在開催しているトマトを大きく育てることを競う「ジャックと豆の木」コンテストに合わせ、同じように実際に学校でも巨木トマトを栽培し、児童の命の学習に役立ててもらえるものです。各校の栽培の様子は随時当社のホームページに掲載をしていきます。

【実習参加校】 順不同

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1) 磐手小学校  | 高槻市安満西の町 |
| 2) 五領小学校  | 高槻市五領町   |
| 3) 富田小学校  | 高槻市昭和台町  |
| 4) 榎田小学校  | 高槻市田能    |
| 5) 柳川小学校  | 高槻市西町    |
| 6) 北大冠小学校 | 高槻市宮野町   |
| 7) 桜台小学校  | 高槻市登町    |
| 8) 寿栄小学校  | 高槻市栄町    |

【栽培の様子（抜粋）】



## 【寄贈の様子（職員室にて）】



特に農業の知識が無くても、トマトが巨木に育つことを純粋にイメージできる子供達が栽培することで、トマトも素直に大きく育つ傾向があります。この栽培実習で一般の土栽培のトマトよりもはるかに大きく育つ姿を見て、子供達が生命の無限の生長力を体感し、自分自身の能力も無限で、将来の夢の実現をしてくれることと思います。

今回の企画は、一民間企業の寄贈に留まらず、これからの日本を担う子供達に命の大切さ、素晴らしさ、無限の可能性を体験学習してもらうことで、人・植物・動物など地球上の生き物すべてを思いやる優しい心をもつ大人に生長してくれることを願っています。

## 【当社の農場での栽培事例】大玉トマト



トマトのびっくり現象  
一株がこんなに大きく成長する

### <ハイポニカ水耕栽培について>

協和(株)は1962年から水耕栽培の研究を開始、1966年から国内で水耕栽培プラントの販売を行っている老舗のメーカーで、1985年のつくば科学万博の政府館でトマトの放任栽培により一株から一万六千個の実をつけた【巨木トマト】を展示しました。この独自の栽培技術は国内外から多くの評価を受けています。

特に同社のシステムは全ての作物や生育時期において、肥料の成分や濃度を変えず、常に同一濃度、同一組成で栽培ができるため、自動化、省力化が容易であると同時に、土栽培では不可能とされる栽培技術の標準化が可能であることが大きな特徴です。

植物が生育する環境を安定に保つことで、生理状態を高レベルで安定し、土での栽培や他の水耕栽培と比べて生育速度が速く、品質が高く、収量も多い特長があります。

### <会社概要>

【代表者】 野澤 重晴（ノザワ シゲハル）  
【設立】 1953年7月  
【資本金】 9,600万円（グループ合計23億7千万円）  
【事業内容】 プラスチック成型金型設計・製造、  
・成型部品製造・販売  
・水気耕栽培ハイポニカの設計・製造・販売  
(URL) <http://www.kyowajpn.co.jp/hyponica/>

### <本件に関するお問い合わせ>

ハイポニカ 広報担当  
天野 督章（アマノ トクアキ）/賀集 淳一郎（カシュウ ジュンイチロウ）  
E-mail: [t-amano@kyowajpn.co.jp](mailto:t-amano@kyowajpn.co.jp) / [j-kashu@kyowajpn.co.jp](mailto:j-kashu@kyowajpn.co.jp)  
TEL: 072-674-1161 FAX: 072-674-1191